



観光部 観光企画課 係員
令和4年度 採用（事務系職員）

【略歴】

令和4年4月 観光部 観光企画課

※所属、職名、内容などは令和5年6月現在のものです。

現在の仕事内容

- ・旅行業法に関する業務（旅行業者からの旅行業登録申請の受付、九州各県および一般の方からの質疑対応）
- ・実証事業（調査）の実施に係る業務
（令和5年度は「九州各県での車いす・ベビーカー貸出事業×クルーズ船客を対象にした着地型旅行商品の造成」）
- ・宿泊業者へのヒアリング調査（宿泊客数、客室稼働率、インバウンドの状況、人手不足の有無など）

Q. 九州運輸局を志望した理由は？

元々、通っていた小・中学校の隣に運輸支局があり、私にとっては身近な存在・場所でした。

大学生になり、「人の生活を影で支えるような仕事ができればいいな」と考え公務員を志望しましたが、どの官庁が自分に向いているのか分からなくなり、たどり着いたのが昔からなじみがありどのような業務を行っているのか知っている九州運輸局でした。

国土交通省の中でも「乗り物」に特化した官庁ですが、小さいころから自家用車でのドライブや公共交通機関で観光するのが好きで、父がトラック運転手である私にとってはとても興味を惹かれる職場で、業務に携わりたいと思い、入局しました。

Q. 女性にとって、運輸局は働きやすい職場ですか？

採用2年目で観光企画課の所属も2年ですが、観光部は若手・女性職員が多い部署でちょっとした相談や雑談がしやすい環境です。また、上司の方々もフランクに話しかけてくださるので、雑談もそうですが、若手だけでは解決できないようなことを相談させてもらっており、その度に丁寧に教えていただいています。

また、観光部では月イチ休暇を必ずとるようになっており、休暇もとりやすいです。残業も少なく、上司から定時に帰るよう言われており、かつ、上司も定時に帰るような状況ですので、無理せずに働いています。

Q. 1日の仕事の流れ

8:30 出勤

メールと観光部の予定を確認します。

10:30 旅行業法関係

旅行業者から提出された書類を確認し、

観光庁に進達する準備をします。

また、各県からの問合せに対応します。

場合によっては観光庁に相談することもあります。

12:00 昼休み

昼食は近くの公園で食べています。

時間があるときは音楽を聴きながら散歩して気持ちをリフレッシュさせています。

13:00 ヒアリング調査

長期休暇や豪雨や地震等の災害があった後に

宿泊施設へヒアリング調査を行います。

15:00 実証事業

現状と今後の活動内容の確認をします。

外部の関係団体と一緒に打合せを行うこともあります。

17:15 退庁

月曜日は一週間分のToDoリストを作ってから

帰宅します。



Q. 採用前後での印象はどう変わった？

九州運輸局の中での「観光」はどのような位置づけなのか分からないまま採用されましたが、採用前は観光と言っても事務職だからパソコンに向かって作業するのがメインなのかなと思っていました。

実際に採用され、働いてみるともちろんデスクでの作業も少なくありませんが、決まったことをするのではなく、旅行者や宿泊・旅行業者、観光地域の手助けの方法を自分たちで考えるような業務が多い部署でした。

観光部ということで九州各地の観光地へ出張に行くことも多く、地域の方々にその地域の魅力や問題点を教えてもらい、そのうえで地域観光を支援する方法がないか考える、提案するのも業務の一つとなっています。

Q. 就職活動中の皆さんへのメッセージ

先が見えないまま頑張らないといけないという非常に苦しい中で就職活動をされていると思いますが、今の頑張りが自分に合った職場や職員と出会えるチャンスの種になっていると私は思っています。特に公務員を目指している方はできるだけ官庁訪問にご参加ください。職場の雰囲気やどういった環境で職員が働いているのか、また、どのような業務があるのかというようなたくさんの情報が収集できるとともに、自分自身のことを知ってもらえる大きなチャンスになります。公務員は民間企業より結果が出るのが遅いので辛いところもありますが、皆さんが笑顔で就職活動を終わることを祈っています。頑張ってください！